

【本部】創立100周年記念シンポジウム 生物工学の未来（2050年）第5回 —
未来の医療技術を考える— | 1

企画委員会では、**創立100周年記念事業**として、生物工学会の会員が参画でき、学会としても重要なテーマ（食、環境、医療など）を対象に、産、学、官の立場から、生物工学の未来（2050年）を皆様で考える契機となるシンポジウムシリーズ（全5回）を企画いたしました。今回は、第5回として、未来の医療技術について考えるシンポジウムを企画しました（未来の医療技術について皆様と一緒に考えたいと思います）。

最後まで参加頂き、活発な議論へと繋げていただければ幸いです。



- **日時**：2024年2月1日（木）13:00～17:20
懇親会 17:35～19:35

- **開催場所**：

早稲田大学 121号館コマツ100周年記念ホール
（〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町513）

ハイブリッドで開催いたします（現地参加あるいはWeb [Zoom] 参加）。

現地参加は上限70名です。申し込み状況にもよりますが、原則、会員（一般、ご所属先が本会賛助・団体会員の方を含む）を優先し、先着順とさせていただきます。

 **講演要旨集**  **ダウンロードはこちら**
(参加者限定)

ご利用には、1月29日（月）にメールでお知らせするユーザーIDとパスワードが必要です。

本シンポジウムで提供されるコンテンツの著作権は、セミナー講師に帰属します。

発表の全部または一部を、保存、改変、再利用、再配布、オンライン翻訳することを固く禁じます。

学会活動の健全な発展のために、ルール厳守をお願いします。

プログラム

- 13:00～13:03 はじめに……青柳 秀紀（筑波大学）
- 13:03～13:43
量子技術・量子コンピュータと生物工学の接点
……………藤井 啓祐（大阪大学大学院基礎工学研究科）
- 13:43～14:23
ゲノム編集技術の現状と2050年展望
……………佐久間 哲史（広島大学大学院 統合生命科学研究科）
- 14:23～14:29 休憩
- 14:29～15:09
Extended reality (XR: VR/AR/MR) とmetaverseによる手術支援・遠隔医療
……………杉本 真樹（帝京大学 冲永総合研究所, Holoeyes [株]）

【本部】 創立100周年記念シンポジウム 生物工学の未来（2050年）第5回 —
未来の医療技術を考える— | 2

- 15:09～15:49
医療ロボットにおける技術開発と将来展望
……………荒田 純平（九州大学大学院 工学研究院）
- 15:49～16:29
未来の予防医療を拓く生物工学
……………安井 隆雄（東京工業大学 生命理工学院）
- 16:29～16:35 休憩
- 16:35～17:17
パネルディスカッション
モデレーター：本多 裕之（名古屋大学）、上平 正道（九州大学）
パネリスト：講演者
- 17:17～17:20 おわりに……………竹山 春子（早稲田大学）
- 17:35～19:35 懇親会
早稲田大学レストラン「森の風」
（〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻516 早稲田大学早稲田キャンパス26号館15F）
121号館から徒歩1分（会費：5,500円）

参加費

〈シンポジウム〉

会員（ご所属先が本会賛助・団体会員の方を含む）：無料

非会員（学生）：1,000円（税込）**ただし、正会員の紹介により無料参加可能です。**

非会員（一般）：2,000円（税込）

〈懇親会〉5,500円（税込）

※参加費（要旨集代を含む）および懇親会参加費のお支払いについては、登録内容確認後にお送りする受付通知メールでご案内いたします。

- **お支払い方法**：クレジット決済（**一週間以内**にお手続きください。）
- 事務局より入金確認の連絡はいたしません。
- 領収書は、SQUAREから送信される支払い完了通知メールをもって代えさせていただきます。
- 参加費の請求書（見積書・納品書）は発行いたしません。通知メールをもって代えさせて頂く旨ご了承ください。

申込方法

こちらのフォームよりお申し込みください。

※当日受付は行いません。必ず事前登録をお願い致します。

- 申込締切日：2024年1月22日（月）

問い合わせ先

公益社団法人 日本生物工学会事務局（吹田市山田丘2-1 大阪大学工学部内）

TEL: 06-6876-2731 FAX: 06-6879-2034

E-mail: (創立100周年記念シンポジウム担当)

◆【関連記事】 創立100周年記念シンポジウム 生物工学の未来（2050年）

- [第1回](#) (2022/10/17)
- [第2回 —未来の“食”と“食料生産”への展望—](#) (2023/2/11)
- [第3回 —バイオものづくりで未来のエネルギーと環境を考える—](#) (2023/7/6)
- [第4回 —メディカル・バイオエンジニアリングの将来展望—](#) (2023/9/4)